

北栄町議会 一般会議 記録用紙

日 時	平成 28 年 7 月 7 日 (木) 午後 7 時 31 分～午後 9 時 14 分	
実施場所	中央公民館大栄分館	
参加者数	団体名 北栄町男女共同参画推進会議 _____ 14 人	
主催者側	議員 14 人 事務局 1 人	
司 会 者	山下昭夫：総務常任委員会 委員長	
記 録 者	油本朋也：広報広聴常任委員会 副委員長	
会議記録	1 開 会	山下昭夫
	2 あいさつ	井上議長
	3 出席者紹介	省略
	4 意見交換	<p>(徳山会長：冒頭挨拶)</p> <p>今は人生 100 年といわれる。若い人や子どもたちが夢や希望を持てる町、安心して子どもを産み育てられる北栄町にするにはどうしたらいいか考えたが私たちにはわからない。そこで議員の人達と一緒に考え、思いを聞きたくて、この会議を申し込んだ。皆で話し合い、いい町にしようと思っている。よろしく願いします。</p> <p>〈テーマ 1：健康〉</p> <p>(徳山) 人間ドックだが北栄町は 5 才間隔で 60 才まで。琴浦町は 65 才までだ。北栄町も 65 才までに引き上</p>

		<p>げてほしい。</p> <p>(津川議員) 検診については町民の意識が両極端。関心のない人が多い。町は一生懸命に努力している。ぜひ受けてほしい。</p> <p>(飯田議員) 町は検診に関心を持たせるべき。その取組が大切。受診率を高める。65才はいいことだ。</p> <p>(長谷川議員) 長寿命化が進んでいる中で、60才までというのは時代に合っていない。受診率向上の問題は、町だけでは対応できないのではないか。</p> <p>(宮本) 先日、基本検診の際、受付の説明不足で受けられるはずの検診を受けることができない人がいた。窓口の職員に、もう少し心配りがほしい。</p> <p>() ポイント制を知らない。町の広報の仕方が悪いのでは。</p> <p>(宮本) 自分の健康のためである。自分で関心を持つべきでは。</p> <p>(徳山) ポイント制は知らない人も多いと思う。</p> <p>() 実際にわからない人は多いと思う。もっと方法は無いのか。</p> <p>(宮本議員) 今日は議員として回答はできないが、皆さんの意見を吸い上げ、持って帰って、検討したい。各課も努力していると思う。議会として町に要望していく。</p> <p>(山下議員) 町がアピールの方法を考えるべきである。</p>
--	--	--

		<p>(浜本議員) 皆さんはどうすれば、受診率が上がると思うか。</p> <p>(永田) ポイント制があるというのを女性会に広めて、検診を受けてもらいたい。</p> <p>(森本議員) 若い人は関心が無い。まず母親が率先して行くべきだろう。</p> <p>(阪本議員) 町が発信しても町報にしてもネットにしても見る人が少ない。自治会の推進員に努力してもらうべきでは。</p> <p>(徳山) 若い人の率が低い。学校なりネットで案内すれば。</p> <p>(福光) 受診しない人を具体的に把握しないと対策ができない。</p> <p>(飯田議員) 自分の自治会が悪いと気づかせる。自治会長が気づくと変わるのでは。</p> <p>(山根) 保健師の姿が見えない。もっと自治会のサポートを。</p> <p>(宮本議員) 最終的には個人の問題だ。</p> <p>〈テーマ2：福祉〉</p> <p>(徳山) 独居世帯の見守りは、民生委員の問題か。何か方法はないのか。</p> <p>(齊尾議員) 町には通報システムはある。最近では地域、近所の繋がりが希薄になっている。</p> <p>町はボランティアを組織化しようとしている。地域づくりが必要と考える。</p>
--	--	--

		<p>(徳山) 民生委員でも家の中には入りにくい。独居も増えるが、その家の中を把握するのは難しい。</p> <p>(齊尾議員) 町は将来的に、独居でも 24 時間見守る体制作りをしている。もう少し待ってほしい。</p> <p>(永田) 私は独居だが、近所とのコミュニケーションはとっているので、安心している。</p> <p>「遠くの親戚より近くの他人が大事」が大切。</p> <p>() 独居老人の介護支援だけでなく在宅でその介護を頑張っている人に、経済的な面とか、何か支援をお願いしたい。これから大きな課題になるのでは。</p> <p>() 疲れた時にちょっと相談できる所がほしい。拠り所がほしい。</p> <p>() しっかりと聞いてもらえる、窓口が欲しい。</p> <p>() 町では訪問介護、訪問医療はしてもらえるのか。在宅で介護しようと思えば必要だ。</p> <p>(齊尾議員) 宮川医院で看護師が回っている。でも契約された家庭のみ。</p> <p>(遠藤) 訪問介護、訪問医療の充実が望まれる。</p> <p>(徳山) 琴浦ではそういうシステムがある。赤碕診療所の先生が定期的にやっている。</p> <p>(齊尾議員) 北栄町の医療スタッフはお願いしても、忙しくて来てくれない。中部全体で考えるのも必要ではないか。</p> <p>() 地域の医療スタッフに、敬老会などの高齢者の集まりで、血圧を測ってもらうなど、協力していただければ</p>
--	--	---

		<p>ば。</p> <p>(徳山) 由良宿には独居老人が多く、買い物難民となっている。タクシー券を知らない人が多く、その申請方法も知らない。他町では移動販売が回っているので、とても助かる。北栄町にそんな考えはないのか。</p> <p>(飯田議員) 他町では補助金を出して、そういう事業を続けている。以前、町へそういう質問をしたが、検討しますと言ったきりだ。</p> <p>(徳山) 町内でも路線バスは通っていても、バス停まで遠い独居の人がいる。</p> <p>(阪本議員) 町の細かい配慮が必要だ。</p> <p>〈テーマ3：その他①：観光〉</p> <p>() 外国人旅行客が体験型観光を好む。町内の空き施設を使い、もっと農業体験をさせるなどの誘致方法は。</p> <p>(飯田議員) グリーンツーリズムはやっているが、まだ人数が少ない。大がかりな取り組みができない。簡単にはできない。</p> <p>(永田) コナンロードに来た人に、食事施設がない。</p> <p>(阪本議員) 商工会が飲食施設のある集合店舗を作っている。グリーンツーリズムは受け入れ態勢の整備が必要。</p> <p>〈テーマ3：その他②：議会〉</p>
--	--	--

		<p>() 定数・報酬の件は今どうなっている。</p> <p>(浜本議員) 定数に関しては、いろんな職種の様々な幅広い住民の方の参加が、議会として必要。皆さんの声を反映させるには、やはり今の定数が必要というのが、議会の中で今は多い。</p> <p>報酬は若い方が出るには今のままではいけない。でも今の状況で引き上げるのはどうか。政務活動費の検討も必要ではないか、というのが今の状況である。</p> <p>() 財政面はわからないが、必要なことは議員さんで話し合って、私たちにとって住みよい町にしてほしい。</p> <p>(徳山) 議員はもっといろんなところに出向いて、話を聞いてほしい。もっと普段から人が集まる所に来てほしい。</p>
	5 あいさつ	浜本副議長
	6 閉会	山下昭夫
特記事項		